

令和6年度 奈良市子ども会議 報告書



奈良市
子ども政策課

目次

I 奈良市子ども会議の概要	1
1 奈良市子ども会議について	1
2 令和6年度奈良市子ども会議開催状況	1
3 ファシリテーター	1
4 子ども参加者	2
5 サポーター	3
II 奈良市子ども会議の開催	3
1 奈良市子ども会議の内容	3
2 振り返りシート集計結果	6
3 アンケート集計結果	8
III 奈良市子ども会議意見書	11
IV 意見書に対する答え	16

別冊資料

- 令和6年度奈良市子ども会議 意見書(原本の写し)



I 奈良市子ども会議の概要

1 奈良市子ども会議について

奈良市では、子どもたちが、今を幸せに生きることができ、将来に夢と希望をもって成長していけるような、子どもにやさしいまちづくりを目指して「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」を制定し、平成27年4月から施行しました。

奈良市子ども会議は、この条例の規定に基づき、子どもの意見表明や参加を支援するための取組で、この会議に参加する子どもたちが子どもにやさしいまちづくり等について話し合い、出された意見をまとめ、市長に提出することを目的としています。

子ども会議開催初年度から10回目を迎える令和6年度の奈良市子ども会議は、奈良市がより子どもにやさしいまちになるために。子どもたち自身ができること、行政ができることを話し合いました。そして、子ども会議を通して話し合った内容を市長へ伝える意見報告会を実施しました。

【テーマ】

「子どもにやさしいまちについて考えよう！」

2 令和6年度奈良市子ども会議開催状況

(1) 開催日・テーマ・参加人数

回	開催日	各回のテーマ	参加人数
第1回	令和6年7月24日（水）	「仲間と出会い、テーマをしっかりと理解する」	20人
第2回	令和6年7月26日（金）	「アクションプランを考えよう」	19人
第3回	令和6年7月31日（水）	「アクションプランを精査しよう」	18人
第4回	令和6年8月2日（金）	「『伝わる意見書』を作成する」	15人
第5回	令和6年8月7日（水）	「『伝わるプレゼン』を練習する」	18人
—	令和6年8月16日（金）	「市長への意見報告会」	18人

(2) 開催時間・場所

- ▶ 開催時間 午前10時から正午まで
- ▶ 開催場所 奈良市役所 中央棟地下1階 B1会議室

3 ファシリテーター

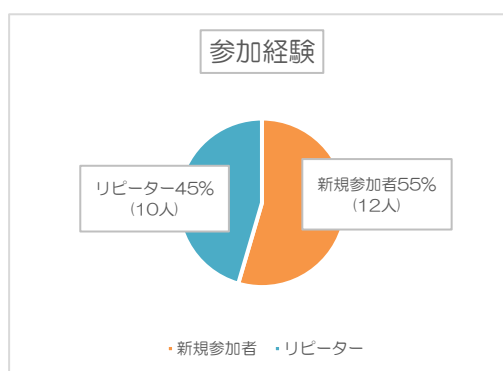
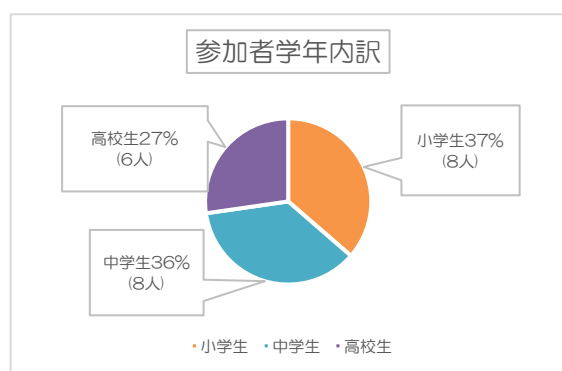
地域ファシリテーター／令和4・5年度奈良市子ども会議ファシリテーター 萩原 有紀 氏

4 子ども参加者

小学5年生から高校3年生までの子どもを対象に、公募等により募集し、22名の子どもが参加しました。

(敬称略)

	氏名	学校名	学年
1	トクモト アオイ 徳本 葵	椿井小学校	6
2	オガワ ヨシヒロ 小川 慶博	あやめ池小学校	5
3	オオタ カノン 太田 かのん	佐保台小学校	5
4	イノウエ ワカ 井上 和香	佐保小学校	6
5	オオタ コウキ 大田 結貴	富雄北小学校	6
6	ツネイシ チカ 恒石 智香	佐保小学校	6
7	タケダ レイ 武田 怜	伏見南小学校	5
8	カニ モモエ 可児 百恵	近畿大学附属小学校	5
9	オオムカイ アキ 大向 彩希	三笠中学校	2
10	ヤト シュウスケ 矢戸 秀介	三笠中学校	2
11	アカサカ ヤマト 赤阪 弥真斗	春日中学校	1
12	サカモト アヤカ 坂本 彩夏	富雄南中学校	2
13	ニシムラ タイチ 西村 泰一	三笠中学校	1
14	アオヤマ コウヘイ 青山 幸平	飛鳥中学校	1
15	タニダ ニコ 谷田 仁胡	奈良女子大学付属中等教育学校	2
16	ホウジョウ アラシ 宝上 新史	三笠中学校	2
17	ハヤシ ユイ 林 幸衣	近畿大学附属高等学校	2
18	ヤマナカ アリサ 山中 杏莉佐	奈良東養護学校（高等部）	1
19	サクライ ユイ 櫻井 結	奈良女子高等学校	2
20	アリカワ ナツキ 有川 菜月	奈良女子高等学校	2
21	イナモリ キホ 稲森 希穂	奈良女子高等学校	2
22	ナカムラ ハルナ 中村 陽奈	同志社国際高校	3



5 サポーター

奈良市内に在住または在学している大学生等を対象に募集し、6名の大学生が参加しました。

(敬称略)

	氏名	大学名	学年
1	ナカダ ミノリ 中田 実李	奈良女子大学	4
2	トダ ユキ 戸田 優希	奈良女子大学	4
3	イワサキ ミオ 岩崎 美桜	奈良女子大学	3
4	ヨネダ サキ 米田 早希	奈良女子大学	4
5	コイデ カリン 小出 果鈴	奈良女子大学大学院	2
6	サワダ サヤカ 澤田 清楓	大阪芸術大学	2

Ⅱ 奈良市子ども会議の開催

1 奈良市子ども会議の内容

(1) 第1回「仲間と出会い、テーマをしっかりと理解する」(7月24日開催)

10:00 開会

- ・開会あいさつ(市長)
- ・記念撮影
- ・ファシリテーター紹介

10:15 子ども会議の趣旨および会議テーマの説明(事務局)

10:30 アイスブレイキング

- ・市長も交えて輪になって並んで自己紹介

10:45 休憩

10:55 グループワークの説明

11:05 グループワーク

- ・マンダラチャートの作成
- ・ポストイットを使ったメモ作成

11:50 振り返り

12:00 閉会



(2) 第2回「アクションプランを考えよう」(7月26日開催)

10:00 開会

- ・前回の振り返り

10:15 アクションプランシートの作成

- ・マンダラチャートやポストイットを駆使してアクションプランを考える
- ・iPadなどで調べもの

11:00 休憩

11:10 アクションプランシートの作成

11:50 振り返り

12:00 閉会



(3) 第3回「アクションプランを精査しよう」(7月31日開催)

- 10:00 開会
- ・ 前回の振り返り
- 10:15 グループワーク
- ・ アクションプランを見直す
- 11:00 休憩
- 11:10 中間発表
- 11:35 グループ交流
- ・ 他のグループの意見を見て自分のグループの議論の参考にする
- 11:50 振り返り
- 12:00 閉会

(4) 第4回「『伝わる意見書』を作成する」(8月2日開催)

- 10:00 開会
- ・ 前回の振り返り
- 10:05 ミニ講座「伝わる意見書とは」
- 10:20 グループワーク
- ・ 意見書の作成
- 10:50 休憩
- 11:00 グループワーク
- ・ 意見書の作成
- 11:50 振り返り
- 12:00 閉会



(5) 第5回「『伝わるプレゼン』を練習する」(8月7日開催)

- 10:00 開会
- ・ 前回の振り返り
- 10:05 ミニ講座「伝わるプレゼンとは」
- 10:30 グループワーク
- ・ 各グループの作戦会議
- 10:50 休憩
- 11:10 グループワーク
- ・ 意見書の作成
 - ・ 報告会の役割分担決め
- 11:20 リハーサル
- ・ 報告会の予行演習
- 11:50 振り返り
- 12:00 閉会



(6) 令和6年度奈良市子ども会議からの意見報告会（8月16日開催）

10:00 事前打ち合わせ

・意見報告会の進行について確認する。意見報告の練習を行う。

10:30 開会

・出席者紹介

10:40 市長へ意見書提出

・記念撮影

10:50 各グループごとに意見発表・市長との意見交換

11:50 市長からのコメント

ファシリテーターからのコメント

12:00 閉会



2 振り返りシート集計結果

奈良市子ども会議の各回で子どもたちにその日を振り返るアンケート(振り返りシート)を記入してもらい、子ども会議についての意見を聞きました。その集計結果は次のとおりです。

回答者数	第1回	20名
	第2回	19名
	第3回	18名
	第4回	15名
	第5回	18名

(問1) 楽しかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とても思う	12	60%	14	74%	16	89%	13	87%	17	94%
そう思う	8	40%	5	26%	2	11%	2	13%	1	6%
そうでもない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	20	100%	19	100%	18	100%	15	100%	18	100%

(問2) わかりやすかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とても思う	13	65%	15	75%	15	83%	11	73%	16	89%
そう思う	6	30%	4	20%	3	17%	4	27%	2	11%
そうでもない	1	5%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	20	100%	20	100%	18	100%	15	100%	18	100%

(問3) 話しやすかったですか？

選択肢	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
とても思う	10	50%	17	89%	15	79%	13	87%	17	94%
そう思う	8	40%	2	11%	3	16%	1	7%	1	6%
そうでもない	2	10%	0	0%	1	5%	1	7%	0	0%
そう思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
全く思わない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
計	20	100%	19	100%	19	100%	15	100%	18	100%

(問4) 今日の子ども会議に参加して、感じたこと、気づいたこと、考えたことなど…なんでも書いてください！

① 第1回 (※一部抜粋)

- ・ちがう学校、学年の人と話せてよかったと思う。
- ・テーマを自分たちで決めていくのでアイデアがたくさんうかんできてよかったです。
- ・今回の議題である「子どもにやさしいまち」ということは私たちがずっと思っていたことを伝えられるチャンスなのでこれからの奈良市がもっとよくなるようにがんばって話し合いをしたいと思います。
- ・自分やみんなにとってくらしやすいくらしを考えれて、よりよいくらしになると思いました。
- ・そうだんをしりしたからきんちょうもとけたと思う
- ・今まで、あまり考えたことのないテーマだったので少し難しかったです。
- ・今年は、ほぼ同じ学年の人達と話すことになって、話しやすかったし、楽しかったです。また、みんなの班が同じテーマで話すので、どんな意見がでるか楽しみです。

② 第2回 (※一部抜粋)

- ・1回目よりもみんなとはなしやすくなった。どんどん意見を出せた。
- ・しゃべりやすく、とても楽しかったです。
- ・1つの大きなテーマから広がっていき、考えなかった案、思いつかなかった案がたくさん出てきました。
- ・みんなで意見を出し合うことで新しい発見ができました。
- ・かいけつさくなど考えるのがむずかしかったが、考えていると楽しくなりました。
- ・グループの子と仲良くなったので意見が言いやすくなった。
- ・前回よりも話やすくなった。自分の意見をたくさん言えた。
- ・今回は、前回の内容を深掘りできて、具体化していきました。慣れてきて、とても楽しめました。

③ 第3回(※一部抜粋)

- ・具体的なことを考えることは、意外とむずかしい。
- ・64コすべてうめるのはむずかしかったです。でも考えたりしたりするのは楽しかったです。
- ・あたらしくきた子となかよくなれた。
- ・みんなで協力して意見をだせた。
- ・最初にやった、“壁をぶち壊す”アイスブレイクがとても楽しかったし、その後で意見を残し40コくらいださないといけないとき、今までだったら自分一人でこれはいいかなとか考えて、あまり出せていなかったけど、今回は、とりあえずおもいついたことをいっぱいふせんに書くことができて、その後の話し合いがスムーズになりました。

④第4回(※一部抜粋)

- ・意外とはやく進んだ。
- ・今回はテンポよく進んだ。
- ・ぐたいてきな取組をわかりやすくするには、どうすればわかりやすくなるか考えたり、私たち、行政、みんなはどうすれば変えることができるのかを考えるのが楽しかったです。
- ・意見書をたくさんかくことができた。行動目標もしっかり考えたい。
- ・人数が少なかったけど意見を出し合ってできた。
- ・少人数だったから意見を言いやすかった！けっこうすすんだー！

⑤第5回(※一部抜粋)

- ・次も来たいと思った。
- ・16日もきます。たのしかったです。次はハッキリしゃべります。
- ・大変だったけどたくさんの考えがでてきて、楽しかったです。
- ・5回目の今日が、1番意見を言うことができた。
- ・最後の会で、みんながどーいうかとも決めて、次の発表に向けて準備しました。
最初は知らない人たちばかりで、きんちょうしたけど、今はうちとけて、お互い
気がるに話せるようになりました。
- ・ことしさいごのこどもかいぎも楽しかった。らいねんもさんかするぞ!!
- ・発表前最後の会議でバタバタでした・・・！子供会議で新しい友達と出会えて楽しかったです！
- ・同世代と本気で奈良市について考えられて、貴重な経験になりました！8/16の発表も頑張りたいと思います!!



3 アンケート集計結果

全5回の子ども会議終了後には奈良市子ども会議全体を振り返ってのアンケートを子どもたちに記入してもらいました。その集計結果は次のとおりです。

回答者数 18名

(問1) 奈良市子ども会議のことを何で知りましたか。(3名から複数回答あり)

選択肢	人数	%
学校での案内	8	40%
友達や保護者からの紹介	6	30%
しみんだより	0	0%
奈良市のホームページ	1	5%
奈良市公式SNS	0	0%
チラシ	2	10%
口コミ	0	0%
その他	3	15%
計	20	100%

(その他)

- ・前もやっていたから 等

(問2) 奈良市子ども会議全体を通して、満足でしたか。

選択肢	人数	%
満足	15	83%
やや満足	2	11%
普通	1	6%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	18	100%

(問3) 奈良市子ども会議全体を通して自分の意見を言うことができましたか。

選択肢	人数	%
十分できた	13	72%
できた	5	28%
どちらともいえない	0	0%
あまりできなかった	0	0%
まったくできなかった	0	0%
計	18	100%

(問4) 子ども会議に来年もまた参加したいですか。

選択肢	人数	%
とても参加したい	10	56%
参加したい	7	39%
どちらともいえない	1	6%
あまり参加したくない	0	0%
参加したくない	0	0%
計	18	100%

(問5) 奈良市は子どもにやさしいまちだと思いますか。

選択肢	人数	%
とてもそう思う	4	22%
そう思う	10	56%
あまり思わない	3	17%
まったく思わない	0	0%
わからない	1	6%
計	18	100%

(その理由) ※一部抜粋

【とてもそう思う】

- ・子供会ぎをひらいて子供の意見をしっかりきいているから
- ・子どもの意見を実現してくれているから。

【そう思う】

- ・学校でもいろいろと不満があるし、良いこともあると思うから。
- ・医療費の補助などもあり助かっているから。

(問7) 奈良市子ども会議に参加して、良かったところ、悪かったところ、変えてほしいところなど、自由に感想や意見を書いてください。(開催時期、回数、場所、内容など) ※一部抜粋

- ・今度は、じっさいにイベントなどをやりたい(スポーツなど)
- ・回数を増やしてほしい。
- ・よかったところは、奈良市のことについて考えたこと 悪かったところは、会議室以外のところにも行きたかった。いろんな所にもいける 変えてほしい。
- ・子ども会議に参加しないと自分の意見をこんなに言える機会はなかったと思うのですごく面白かったし、楽しかったです！高校生だけでなく、他の学年の人とも交流できたらいいなと思いました…！



Ⅲ 奈良市子ども会議意見書

奈良市子ども会議で出された子どもたちの意見をまとめ、市長に提出するための意見書を子どもたち自身で作成しました。

令和6年度奈良市子ども会議では、「子どもにやさしいまち」をテーマに、小学生・中学生・高校生の各年代のグループに分かれて議論を行いました。

マンダラチャートを使って考えた、「奈良市が子どもにやさしいまちになるための8つの要素」をもとに、「子どもたち自身にできること」「行政にできること」「みんなにできること」の3つの行動目標を意見書にまとめました。

なお、この意見書の原本は子どもたちによる手書きの意見書になっていますので、この報告書の別冊資料としてその写しを添付しています。

Aチーム「いちごバナナクレープ」（メンバー：徳本 葵、小川 慶博、太田 かのん、井上 和香）

私たちのチームが考える「子どもにやさしいまち」の8つの構成要素
①安心して遊べる公園
②みんなが平等で安心してくらせる町
③みんなが歩きやすく事故やケガを減らせる道
④はん罪の心配がなくて安心して遊べる町
⑤人としてのけんりがあって差別がない町
⑥皆が住みやすく安全な町
⑦困っている人も声をかけやすい町
⑧さまざまな人が使える信号
行動目標【私たちにできること】
市役所が管理カメラをつけて交通量を調べる
家のボタン
ポストみたいな意見箱＋市役所の横などに造る公民館
へんけいを持たない公民館でセミナーみたいなのを聞く
ブロックへいをへらす
お祭を定期的に行う
見て見ぬふりをする人をへらすためにポスターを作る。ポスターには標語をつける。
助けてる所を見た人にスタンプなどを印をつけてもらう
自分から積極的に助けに行く
困ったとき助けてもらう助けてあげられるようになる
行動目標【行政にできること】
市役所が管理カメラをつけて交通量を調べる
町に街灯をふやす→人通りが少ない所
道にガードレールをふやす→車が多い所にふやす
自転車も通りやすい道をつくる→道を平らにするせん用レーンを作る→しょうとつの確りつはへる
信号機をみやすくする→もっと明るくする（信号機に）日ざしを作る
行動目標【みんなにできること】
子ども用のけいじ板をつくる→ポスターなどをはる
「耳が聞こえないよ」みたいなマークをつくる→リュックやかばんにつける
駐輪場をふやす：家→もより駅→会社のもより駅→会社 駐輪場にとめる→駐車料金を安くする
街灯のライトをふやす→防はんたいさく
助けてもらう、助ける→SOSボタンを作る

Bチーム「ベゴパ」（メンバー：大田 結貴、恒石 智香、武田 怜、可児 百恵）

私たちのチームが考える「子どもにやさしいまち」の8つの構成要素
①勉強がしやすい環境
②楽しく安全に遊べる公園
③子育てしやすい奈良市
④みんなが健康にらせる町
⑤いじめ差別のないくらし
⑥だれでも安全に使える道
⑦環境に良い町
⑧みんなのよりよいところにお金を使える町
行動目標【私たちにできること】
大人に説得させる。学童を楽しむ
面倒をみる
給食を楽しむ
呼びかけをする、アンケートをとる、メニューを考える、市長を伝える
相談室の子供として取り組みに参加する 手紙や電話でする ポスターをつくる
ゆずりあい
時間をはかって交代する
行事に自分から取り組む
テストと授業で3クラスぐらいに分けてもいじめないようにする
行動目標【行政にできること】
学校の先生を学童の先生にする
子供のためにお金を使う
週に1回セレクト給食にする。食べたい給食のアンケートをとり1位からさいよう。
お金を出す。朝ごはんの大切さを教える。
部屋をつくる。ゲームを用意する（ボードゲーム）
ボール遊びができる公園と遊具がある公園を分ける。（マーク）
トイレか冷房室を設置する。公園の近くにはコンビニを設置する。
かい中電とう（ミニ）をくばる
日曜日にお祭りをを行う。
1学期に1回、大きいテストをする。
行動目標【みんなにできること】
学校の行事やそうじに取り組む1日先生になってみる
ほ金活動を行う。
手伝いをする（皿洗いなど）
相談室の子供をすいせん。相談室の子供をえらべる。
きれいに使う、する。
授業できものをきれいにする。
自分のレベルがみんなにわからないようにする。

Cチーム「バックマン」（メンバー：大向 彩希、矢戸 秀介、赤阪 弥真斗、坂本 彩夏）

私たちのチームが考える「子どもにやさしいまち」の8つの構成要素
①快適で便利な遊び場
②安全な地域にする
③ルールやマナーを理解して守れるまち
④安心できる地域
⑤交流する機会をふやす
⑥清潔で利用しやすい公共の場所
⑦過ごしやすい学校にする
⑧誰にでもわかる・できる
行動目標【私たちにできること】
理由を根拠つきで、意見を大人に言う
草かり、草むしり
ボランティア活動に参加
学校で温度調節できる服を着る
イベントを知らせる
ボランティア活動に参加する
行動目標【行政にできること】
コンビニ、自販機、防犯カメラ、手洗い場、トイレの設置
街灯をつくる、道の整備、たばこを売らない
運動できる場所を増やす、外国人向けに外国語の工夫
ユニバーサルデザイン、バリアフリーの工夫
学校の窓に網戸をつける
学校生活での不満を教育委員会から学校に言ってほしい
行動目標【みんなにできること】
ポイ捨てしない
あいさつ、ゴミ拾い
きれいに使う
ルール、マナーを守る
相談しやすい環境をつくる
交通ルールを守る

D「チキンストリンガー（-1.0）」（メンバー：西村 泰一、青山 幸平、谷田 仁胡、宝上 新史）

私たちのチームが考える「子どもにやさしいまち」の8つの構成要素
①みんな楽しく生き生きと過ごせる町
②生活しやすい町
③みんな楽しく遊べる町
④相談する相手がいる町
⑤文化を受け継いでいく町
⑥学校が楽しい町
⑦きれいで過ごしやすい町
⑧子供が安全に過ごせる町
行動目標【私たちができることは】
昔の遊びをやる
使わなくなった本を寄付する
夜間に一人で歩かない
友達と避難訓練をする
外国人にしゃべる
お年寄りとしゃべる
世界遺産を見学する
ポイ捨てをしない
いじめをしない
ルールを守る
ゴミの分別をきちんと行う
楽しく遊ぶ
信号無視をしない
興味があることを追求する
自分たちでせいそうを行う
行動目標【行政ができることは】
街灯がある
観光客向けのルール説明板作成
いじめアンケートを定期的にする
遊具を増やす
校庭を土日も開放
地域の特産物を使った講習会
道がでこぼこ改善する
ラーケーションの導入
バス停やしせつ、道にベンチを増やす
本をたくさん増やす
学校で書ぞめをする
いじめの相談所をつくる
電話相談24時間できるところを増やす
看板にふりがなを多くする
ハニラトラック走るの禁止
広い公園せいび
気軽に相談できる所を作る
観光地がたくさんある
市役所が市民もさんかできるごみひろい
行動目標【みんなで一緒にできることは】
食べ歩き禁止
落書きをしない
避難訓練の実施+地域
見守りをする
タバコを吸わない
文化を生活に入れる
拾ったごみで新しい作品を作る（リサイクル）
学校で月1と夏休みストレッチ等をする
お年よりが子どもに昔の遊びを教えてあげる
ゲームゴミひろいをする

Eチーム「JK」（メンバー：林 幸衣、山中 杏莉佐、櫻井 結、有川 菜月、稲森 希穂、中村 陽奈）

私たちのチームが考える「子どもにやさしいまち」の8つの構成要素
①身の安全が保障されている町
②気軽に相談できる町
③教育が行き届く町
④コミュニケーションがとりやすい町
⑤お金に余裕がある町
⑥地域の活動に積極的な町
⑦誰もが生活しやすい町
⑧遊び場がいっぱいある町
行動目標【私たちにできること】
学校で先生と仲良くする
カウンセラーと接点を持つ
子供が周りの目を気にせず、自分の意見を言える場を設ける
近所同士の挨拶
ふるさと納税をフル活用して、消費税を下げるきっかけを作る
子供がお金の価値を知る機会をつくる
公民館に行って普段関わりのない人と話す
トリック・オア・トリートを自治体でする
遊び場に行って、ものの貸し借りや、対話を通じて友人を作ったり、コミュニティを広げる
悩みがあれば、迷わず誰かと相談する
行動目標【行政にできること】
教育者を増やす
学校関係者が家庭状況を確認
横断歩道を交通量の多い所に増やす
自治体が年一回、各家にハザードマップを配る
アスファルトをきれいにする
耐震工事をする
太陽光パネルなどでクリーンなエネルギーを使う
喫煙ブースを人気の無い所に作る
子育て支援センターの中に、みんなが無料で使える子ども食堂を作る
点字ブロックを増やしたり、階段の多い所にスロープを作る
公園の公衆トイレをきれいにする
地域の公園や幼稚園の遊具の点検の頻度を増やす
ボール遊びができるような広い土地を整備したり、廃校になった場所を活用する
個人情報漏れないような意見箱を市役所に置く
私立、公立関係なく、出身地などの制限をかけられずに、全額保障で選択肢を増やせるようにしたい
行動目標【みんなにできること】
担任を交替制にして、先生との関わりを増やす
地域のイベントに参加して、交流をする
高校生以上が大人の援助を受けてイベントを主催する
9月～冬にかけて、手持ち花火をしたり、屋台を運営するおまつりをする
習い事をできる所を増やす
公民館で日本語の先生だった人が外国から来た人に、日本語を教える
遊び場の見守り人をつくる
学校のカウンセリングに行きやすい環境をみんなで作る
中高生が体を動かしたり、夜まで話せる場所をつくる
カウンセリングできる場所の周知

Ⅳ 意見書に対する答え

子ども会議で提案のあった子どもたちからの意見は多岐にわたりますが、各グループが特に意見提案として発表された内容に対する市の答えをまとめました。

回答内容は次のとおりです。



分野	子ども達の意見	奈良市の回答	補足情報	担当課
安心・安全	地域のお祭りを定期的に行って、地域の人の交流の場を増やしてほしい	地域のお祭りは、自治会などのそれぞれの地域の団体が企画し、地域住民の皆様によって開催されています。そのため、皆さんのような若い世代の方々にお祭りに参加していただくことに加え、お祭り等の地域行事の企画や運営にも積極的に参加し、意見を出し合って一緒に考えていただくことで、将来にわたって、地域の皆様との交流の場が続いたり増えたりしていくことに繋がります。 また、お祭り以外にも様々な地域行事がありますので、まずは自分たちが住んでいる地域がどのような活動をしているかを調べていただき、ご家族とも話し合うなど、よりたくさんの方の地域が集まる交流の場づくりについて、考える機会を持っていただければと思います。 地域活動のことで分からないことや悩んでいることがあれば、皆さんのご意見も是非聞かせていただきたいと思いますので、いつでも「地域づくり推進課」に相談してください。	【地域づくり推進課】 0742-34-5193	地域づくり推進課
	街灯や防犯カメラを増やして防犯対策をしてほしい	防犯カメラは、警察等と相談し、必要な設置場所を選んで計画的に設置し、皆さんが安心・安全でいられるよう運用しています。今後もそういった防犯対策を強化していきたいと考えていますので、皆さんが「ここは危ない」「この場所に設置するべき」と思うところがあれば、地域の安全見守りや防犯活動を行っている人にぜひ相談してみてください。みんなで安全・安心なまちを作っていきます。	奈良市では、各地域に「自治会」や「自主防犯組織」などがあります。住んでいる場所によって異なるので、地域の役員さんを確認して、相談してみてください。	危機管理課
	防犯ブザーを配布して子どもの安全が守られるようにしてほしい	防犯ブザーは安全対策のため、平成18年度から毎年、小学1年生に配布しています。引き続き小学1年生を対象に配布をして、皆さんの安全が守られるようにしていきますね。	子育て@なら「防犯ブザーの配布について」 https://www.city.nara.lg.jp/site/kosodate/5985.html	いじめ防止生徒指導課
	小さい懐中電灯を配ってほしい	小さい懐中電灯など、防犯対策に有効なグッズなどは、各地域の防災・防犯の組織が活動を行うにあたり、地域がもつ課題の取組の実情に合わせて、必要に応じて購入し配付できるよう、各地区の防災・防犯組織からの申請に基づいて、補助金を出してサポートしています。地域の安全見守りや防犯活動を行っている人にぜひ相談してみてください。		危機管理課

安心・安全

園の遊具の点検頻度を増やして子どもが安心安全に遊べるようにしてほしい	市立の園では、1か月に1度、園の先生が実際に遊具を目で見て、手で触って、危険がないかの点検を行っています。劣化などにより修理が必要な遊具については、市立の園を管理している保育総務課に連絡をもらい、どの程度の修理が必要か確認をします。市の職員で修理できないものについては専門の業者さんに修理してもらっています。引き続き、園の子どもたちが安全で安心して遊具で遊べるように定期的に点検していきます。また、私立の園でも、運営している法人が遊具を点検し、子どもたちが安全に遊べるよう管理しています。		保育総務課
人通りの少ないところを中心に街灯を増やして、事故やけがを減らせる道にほしい	奈良市では街灯を設置する基準（例えば何メートルおきに設置するなど）があり、市民の方からの要望があった時などは、この基準に照らし合わせて街灯を設置しています。これからも、事故や怪我を減らすために必要な街灯を設置していきます。もし「ここは街灯があったほうがいい」と思う場所があれば、地域の防犯活動などをされている方に相談してみてください。		道路維持課
車通りの多い所にガードレールを増やし、事故やけがを減らせる道にほしい	奈良市通学路交通安全プログラムによる、通学路の合同点検を行い、危険箇所に対し、防護柵（ガードレール等）の設置や歩車道分離等の交通安全対策を計画し、子どもたちが安心して安全に通学できるように対策を行っています。 また、水路や川等の道路と落差がある場所には、落下による事故を防止するための転落防止柵の設置対策を行っています。 奈良市では、学校・警察・地域住民の方々と連携をとりながら、現状の交通問題に焦点を合わせた交通安全対策を進め、誰もが安心・安全に暮らしていけるまちづくりを目指しています。	【奈良市通学路交通安全プログラム】 https://www.city.nara.lg.jp/site/kyouiku/9064.html	道路建設課
でこぼした道を改善してほしい	奈良市ではスマホやパソコンを使って道の穴ぼこなどを通報するシステムを運用しており、その他、国土交通省のLINEアプリや電話などによって市民の方から教えていただいたでこぼこなどの道路の傷みを直しています。また、計画的に傷んだ道を直す工事を行うなど、だれもが歩きやすく、安全に自転車や自動車に乗れる道を目指しています。日常生活の中で直した方がいいと思える道路の傷みを見つけたら、地域の自治会の役員さんなどに相談してみてください。	【奈良市地図情報公開サイト】 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/6/94247.html 【国土交通省LINEアプリ】 https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_h_h_001786.html	道路維持課

安心・安全

安全のためにブロック塀を減らしてほしい 耐震工事を推進してほしい	「奈良市耐震改修促進計画」により、住宅や建物の耐震化を進めています。 この計画は、地震に強い、安全・安心なまちづくりに向けて、耐震化されていない住宅や建物について、計画的に地震に対する安全性を向上させることを目的として作られています。 耐震工事を進めるために、地震による被害が多いとされている建築時期の古い住宅や建物に対して、耐震診断・耐震改修に対する補助金制度を準備し、建物の持ち主が耐震化を進めやすくしています。 ブロック塀等は、地震によって倒れると、死傷者が出るばかりでなく地震後の避難や救助、消火活動の妨げになるため、危険なブロック塀等の撤去工事の補助金制度を準備し、ブロック塀等の持ち主の撤去工事を進めやすくしています。 また、市民だより、バス広告、奈良市ホームページ、SNS等を通じて、住宅や建物の耐震化が必要であることや耐震診断・耐震改修に対する補助金制度の内容について周知・啓発を行っています。 今後もこの計画に基づき、地震に強い、安全・安心なまちづくりを目指していきます。	建築指導課 ホームページ 奈良市耐震改修促進計画 (令和3年3月改定) https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/117/13064.html 耐震補助金制度の紹介 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/117/7505.html コンクリートブロック塀の倒壊防止の注意喚起について https://www.city.nara.lg.jp/site/keikaku/9897.html	建築指導課
地域での避難訓練を増やしてほしい	地域での避難訓練については、各地域の自主防災組織などが様々な訓練をしています。また、奈良市では総合防災訓練を令和元年度から毎年10月頃に実施しています。避難訓練は、災害が起きたときにとても大事な訓練になるので、「避難訓練をやってみよう」や「避難所での生活を体験してみよう」などやってみよう。訓練があれば、各地域の防災活動をしている人にぜひ相談してみてください。一人でも多くの人が安全に避難できるように訓練をしていきましょう。	奈良市では、各地域に「自治会」や「自主防災組織」などがあります。住んでいる場所によって異なるので、地域の役員さんを確認して、相談してみてください。	危機管理課
年に1回、各世帯にハザードマップを配布してほしい	ハザードマップについては、令和5年度に全家庭に配布しました。また、奈良市ホームページでもデータを掲載しています。今後も定期的に見直しを行い、最新の情報にしています。	【奈良市ハザードマップ】 https://www.city.nara.lg.jp/site/boosai-saigai/89308.html	危機管理課

誰にでもわかる・できる

	子ども用の掲示板を作ってほしい（学校前や駅前）	すてきな掲示板の提案をありがとうございます。確かに子どものために役に立つ掲示板があると、みなさん、そしてお父さん、お母さんも喜びますね。 奈良市では大人用の「広報板」があります。現在、市内に全部で1200か所以上あり、奈良市からのお知らせの他、地域のお祭りポスターやイベント紹介等、地域みんなのための掲示物を貼ることができます。ポスター等を貼るスペースや板が壊れないよう、広報板が建てられている地域の自治会長のみなさんに、市から日常の管理をお願いしています。 例えば、この「大人の広報板」を活用するのはどうでしょうか。広報板は各自治会でいろんな使い方をしているので、自治会長さんに相談すれば、もしかしたら子ども向けのスペースを確保してくれる、みなさんが作ったポスターを貼ってもらえるかもしれません。 さらに、もう一つ提案があります。みなさんの案の中に「駅前」というのがありましたね。近鉄の駅前や駅ナカには、デジタルサイネージというデジタル掲示板を設置しています。毎日会社や学校へ通う人等に向けて、パッと目を引くすてきな画像や動画を流しています。普段は大人向けの内容が流れていますが、みなさんの今回の提案を受けて、子どもでも読める文字で、奈良市の子ども向けのイベント等を配信してみたいと思います。 例えば、はぐみセンターで行う「キッズ学びのフロア」や移動図書館のお知らせ等、実験的に配信してみたいと思っています。もしみなさんが今までに参加し、楽しかった奈良市のイベント等があれば、ぜひ教えてください。多くの人にみなさんの「楽しかった！」を共有したいと思っています。		秘書広報課
	外国人観光客向けの外国語看板を増やし、ルールやマナーをきちんと守るようにしてほしい 観光客向けのルールやマナーの説明看板を増やし、きちんと守れるようにしてほしい	奈良市では、観光客の方に向けて多言語の案内看板等を設置し、「観光客がルールやマナーを守る安全なまち」の実現を目指しています。 外国人観光客の方が観光するときのルールやマナーを知っていただくため、奈良公園をはじめ市内各所に設置しているQRコードから、観光スポットだけでなく、トイレの使い方やバスの乗り方、シカとの接し方などを英語や中国語、韓国語などの多くの言語で見られる仕組みを取り入れています。 また観光案内板だけでなく、奈良県などと一緒に、駅にあるデジタルスクリーンやネット上のホームページで、ルールやマナーの呼びかけを外国語でも行い、さらに理解を深めていただけるよう取り組んでいます。 これからも外国人観光客が増加していく予測があるので、さらなる呼びかけを積極的に行っていきたいと思っています。		観光戦略課
	ユニバーサルデザインやバリアフリー化を推進し、誰でも利用しやすい公共空間を増やしてほしい バス停や施設、道にベンチを増やしてほしい 点字ブロックを増やしたり、階段の多い所にスロープをつくったりしてほしい	みんなが安心して暮らせるように、必要な設備を整備していくことは非常に大切なことです。 奈良市においてもいくつかの取り組みを進めています。 公園や公共施設では、バリアフリーのトイレを設置したり、遊具のユニバーサルデザイン化を進めています。また、新しい建物を作るときには、最初から誰でも使いやすいように設計することを心がけています。 奈良市では「奈良市バリアフリー基本構想」というバリアフリー化への基本的な考え方を定め、高齢者、障害のある方、妊婦さん、子育て世代、子ども、さらに観光客などすべての人々にとって、地域の皆さんと一緒に安全・安心で暮らしやすいまちづくりを目指しています。	【奈良市バリアフリー基本構想ホームページ】 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/172/8070.html	交通バリアフリー推進課

	本をたくさん増やしてほしい	いろいろな人が利用する図書館では、大人から子ども向けまで様々なジャンルの本をそろえています。これからも、利用していただく方のリクエストなどをうかがいながら、新しい本を増やしていきたいと思っておりますので、ぜひ利用してくださいね。		中央図書館
相 談	個人情報漏れのないような意見箱を市役所に置いてほしい	意見箱を設置することで、みんなの意見やアイデアを集めることができるのはとても良いことですね。 奈良市役所では市民のみなさんからの意見をもらう方法として、「市長への手紙」と「ご意見箱メール」の2つを実施しています。「市長への手紙」では、市が用意した専用封筒を使ってポスト投函ができ、市長が直接みなさんのご意見を読みます。また「ご意見箱メール」は、メールでみなさんのご意見を受け付けています。どちらも個人情報の取扱いには十分注意して取り扱っていますので、みなさんも安心して意見を寄せてください。	奈良市ホームページ 【市長への手紙】 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/7/5517.html 【ご意見箱メール】 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/7/7180.html	総務課
	子どもによる子どものための相談室を作してほしい（その部屋でゲームもできるように用意してほしい） 電話相談（チャットも可）を24時間体制で受け付けているところを増やしてほしい	現在子ども向けの相談室は、子どもセンター内に設置していますが、ここは子どもセンターにいる相談員さんと相談したい人が、相談するために使っている所になります。相談したい人がいつでも相談できるように、相談室の貸し出しはしていません。また、いろいろな人が相談に来られるので、相談室にゲームを置いたりすることもできないため、「子どもによる子どものための相談室」を子どもセンターの中に作るのには難しいと考えています。 また、学校でもみなさんが安心して、落ち着いて過ごすことができることは、とても大切なことだと思います。そのため、まずは先生や周りの大人がしっかりと子どもたちの意見を聞く機会と居場所を作っていきたいと思っています。 教育支援・相談課での相談では、丁寧にお話を聞くようにしているため電話相談や24時間の相談は受け付けていませんが、お家の方（保護者）から教育相談総合窓口へ直接電話をしていただき、お話を聞いた上で、必要があれば子ども達が教育センターに来てカウンセラーである臨床心理士とお話ができるようにしています。 詳しい相談先については、奈良市立の小学校、中学校に通っている人には学校から渡してもらっているパソコンの「学びのトビラ」に「お悩み相談」の中にいろいろな相談先を示しています。また、その他の人は奈良市のホームページで「教育相談」と検索してもらうと、同じように相談先が表示されます。皆さんが相談できる場所はたくさんある方が自分に合った相談の場も見つけやすいと思うので考えていきます。 皆さんの意見も参考にして、今後も、かじこまった感じではなく、気軽に立ち寄れる場所で相談ができたり、ゲームをしながらお互いの悩みを打ち明けられたりというような気軽に相談ができる場を、増やすにはどうすればよいか考えていきます。	【子どもセンター】 https://www.city.nara.lg.jp/site/childcenter/	子育て相談課 学校教育課 いじめ防止生徒指導課 教育支援・相談課
	いじめアンケートを定期的に実施してほしい	いじめのアンケートについては、学期に1回、年合計3回実施しています。皆さんの声をしっかり聴かせてください。		

相談	いじめの相談所を作してほしい	チャット（SNS）、メール、電話でそれぞれ相談できる場所を準備しているので、そのことを皆さんに知っていただけるようにチラシなどで案内していきます。	いじめや学校生活に関する相談窓口一覧 https://www.city.nara.lg.jp/site/kyouiku/69811.html	いじめ防止生徒指導課
クリーンで過ごしやすいまち	公民館を、避難所だけでなく地域のイベントも含めて市民が集いやすい場所にしてほしい	皆さんを含め地域の方々が誰でもふらっと訪れることができ、心地よく滞在できるエントランス・ロビーづくりを行いたいと考えています。 また、小中高生や若者の皆さんが気軽に立ち寄れるよう、レンタル図書を活用するなど図書の充実を行ったり、空き部屋を「自習室」として開放するなど、自由に使えるスペースを増やしていきたいと考えていますので、今後も気軽に公民館を利用してください。		地域教育課
	市役所内にコンビニ、自販機、防犯カメラ、手洗い場、トイレの設置をもっとしてほしい	市役所内には、中央棟地下1階にコンビニエンスストアがあります。市役所が開いている日の朝7時30分から夕方6時30分まで営業しています。 自動販売機は、中央棟地下1階・北棟1階と4階の3か所ありコンビニエンスストアが営業していない時間でも飲み物が買えます。 防犯カメラは、市役所に用事や仕事にいられているみなさんの安全を守るため市役所の各所に設置しています。 トイレは、各階の必要な場所に設置し手洗い場は、そこにもあります。令和3年に中央棟1階にどなたでも使いやすい多目的トイレを2か所増設しました。 また、市役所には、今年の6月にオープンした庁舎南側の「芝生広場」と令和5年9月に東棟屋上にオープンした「こども広場」があります。市役所に用事がなくても気軽に来てもらえる様な明るい場所を目指していきます。	【市役所南側芝生広場】 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/12/209375.html 【市役所屋上こども広場】 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/12/180251.html	資産管理課

クリーンで過いしやすいまち

駐輪場を各所に増やして利便性を向上させ、また駐輪代を安くしてほしい	奈良市では、自転車利用者の利便性の向上と、自転車の放置を防いで街がきれい安全な状態を保つために、近鉄奈良駅・高の原駅など主要駅周辺に駐輪場を設置しています。市が直接運営している駐輪場以外にも、民間事業者が運営している駐輪場、市と民間事業者が協力して設置している駐輪場もあり、市内の駅前には全て駐輪場が設置されています。また、駅前の駐輪場以外にも、最近では民間事業者が市内でシェアサイクル（一定のエリア内にたくさん配置されたポート（専用駐輪場）において、自転車を自由に貸出・返却することのできる交通手段）を行っており、便利な交通手段となっています。 市が運営している駐輪場について、利用者がそこまで多くないところについては、維持（いじ）管理のための費用があまりかからないことから、無料の駐輪場として運営を行っていますが、利用者が多いところでは、せまい場所でもたくさんの自転車が駐輪できるようにするために建物を建設したり、利用者に自転車をきちんと駐車位置に停めてもらうために、自転車用ラックの整備や床面（ゆかめん）へのライン引き等を行っています。そのほかにも施設に管理人を配置していることなどから運営費用がかかるため、有料の駐輪場として運営しています。 駐輪場を運営するための費用については、駐輪場を利用する方としない方との間で不公平が生まれないようにするため、駐輪場を利用する方に「利用料」としてご負担いただき、その収入で運営を行っています。そのため一定程度の利用料の負担を利用者のみなさんをお願いしているところです。 近年、少子高齢化（しょうこうれいか）や人口の減少、またリモートワーク（勤務先（きんむさき）ではなく自宅など別の場所で仕事をする）等の色々な働き方が増えたことにより、駐輪場の利用者が減っている状況です。今後の駐輪場を取り巻く状況を考えて、一番良いと思われる駐輪場運営を行っていきたいと考えています。	【参考URL：ドコモバイクシェア】 https://docomo-cycle.jp/nara/ 【参考URL：ハローサイクリング】 https://www.hellocycling.jp/station/nara/%E5%A5%88%E8%89%AF%E5%B8%82
太陽光パネルなどのクリーンなエネルギーを積極的に使用するようにしてほしい	奈良市では、令和5年9月に「奈良市ゼロカーボン戦略」を策定し、2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガスの排出（はいしゅつ）を実質ゼロとする脱炭素（だつたんそ）社会の実現を目指しています。 温室効果ガスは、石炭や石油など化石燃料の燃焼、ガスやガソリンなどの使用、車での移動、ごみの焼却（しょうきゃく）などで排出され、これらの行動により排出される温室効果ガスが増加したことにより地球温暖化（ちきゅうおんだんか）が進んでいます。 温室効果ガスを減らし地球温暖化を防ぐために、エネルギーを効率よく使う省エネにできるだけ取り組む必要があります。ただ、節電や節ガス、LED照明の活用などの省エネ等で温室効果ガスの削減に努めたとしても、生活を送っていくうえで電気やガスの使用などを全てやめることはできず、削減できる量に限界があります。そのため、太陽光発電など温室効果ガスを発生しない再生可能エネルギーの利用が必要となっています。 そこで、奈良市では、小学校や中学校などの学校をはじめとする市の施設において、太陽光パネルの設置を進めています。また、民間事業者が自社の施設（しせつ）に太陽光パネルを設置する費用の補助（ほじょ）も実施しています。今後も太陽光パネルの設置を進めるなど、クリーンエネルギーの使用を増やしていきます。	環境政策課

市民が参加できるゴミ拾いイベント（ゲームごみひろい）を開催してほしい	ゴミ拾いイベントについて、現在のところ市役所として市民の参加を想定したイベントは開催（かいさい）していません。ですが、ボランティアのグループ等がゴミ拾いイベントを開催するときは、市役所としてもイベントの広報等の協力を行っています。 コロナが落ち着き、国内外から奈良市を訪れる観光客が増えていくなどから、ポイ捨てゴミが増えているという通報や相談がしばしば市役所にも届きます。ポイ捨てゴミを発生させないために、ポイ捨てがいけないことであるという広報や注意の実施（じっし）、また仕組みづくりが必要であると考えています。市役所としても、ポスター掲示や道路などへの路面標示の設置、駅の中に設置しているデジタルサイネージ（電子掲示板でんしけいじばん）による広報や、条例による自動販売機へのゴミ箱設置の規定など、様々な取り組みを行っています。また、外国人でも分かるように、外国語と日本語を両方記入した掲示物（けいじぶつ）の設置も今後増やしていく予定です。 今後はポイ捨てゴミのない奈良市にしていきたいために、ご提案いただいたゴミ拾いイベントを含め、どのような対策が効果的であるか考えていきたいと思っています。		
煙草を売らないでほしい	たばこを売ることが「たばこ事業法」という法律で認められていることや、たばこを売った収入がたばこ税として税収になっていることなど、たばこには様々な側面があり、今の日本の社会で売らないように規制することは難しいです。 でも、たばこを吸う人と吸わない人がお互いを思いやり、気持ちよく過ごせる社会をみなさんにも協力してもらいながら作っていききたいと思っています。そのためには、ルールやマナーが大切です。 2020年4月に「健康増進法」という法律が改正され、学校は敷地内禁煙にしなければならないなど、望まない受動喫煙（※）が生じないように、様々なルールが定められました。奈良市でも、この法律に基づいて、市の施設を原則敷地内禁煙にしたり、ルールに違反するお店や施設などに指導をしていたりしていますが、まだまだ不十分などがあることがみなさんの意見でわかりました。 学校などの施設やお店、市民のみなさんに守ってほしいことをもって色んな場面や方法で伝えていきたいと思っています。 （※）受動喫煙・・・自分が喫煙しなくても周りのたばこの煙を吸わされてしまうこと		医療政策課
喫煙ブースを人気のないところにをつくってほしい	貴重な意見をありがとうございます。たばこのポイ捨てやけむりなどが「子どもにやさしいまち」に影響するとみなさんが考えていることがわかりました。みなさんが知っているとおり、たばこの煙は、吸っている人だけでなく周囲の人にも影響があります。 まずは、望まない受動喫煙（※）を防ぐため、「たばこを吸ってはいけない場所では吸わない・吸わせない」「たばこを吸うときは周囲に配慮すること」を市民のみなさんに守ってもらえるよう、しっかり伝えていきます。 それとあわせて、指定の喫煙所（喫煙ブース）を設置している地域の事例から、設置した場合にどのような効果があったか、また反対に設置したことで困ったことはあったかなどについて広く情報収集していきたいと思っています。 （※）受動喫煙・・・自分が喫煙しなくても周りのたばこの煙を吸わされてしまうこと		

クリーンで過ごしやすいまち	パニトラックの走行を禁止してほしい（騒音）	トラックで移動しながらスピーカーで宣伝することについては、必要ない人にはうるさく感じることがあります。でも、表現の自由や商売の自由も大事です。また役に立つ情報もあり、全てを禁止することはできないので、奈良県ではルールを作ってスピーカーでせん伝できる場所や時間を決めています。 みなさんがパニトラックの騒音で困っていることは十分理解しました。スピーカでせん伝しているトラックがこのルールを守るようにこれからも指導していきます。 ※奈良県のルールでスピーカーの使用が禁止されている場所と時間 1 ルールで決められている場所 住んでいる人が多い地域（住居専用地域） 風景を守る地域（商業地域を除く） 歴史的な場所 学校、ようち園、保育所、こども園、病院、しんりょう所、老人ホーム、図書館の周囲からおよそ50mの区域 2 禁止されている時間 上記の場所では午前10時から午後4時までの時間以外は使用禁止	保健・環境検査課
	パニトラックの走行を禁止してほしい（景観）	いただいたご意見のとおり、まちなかで派手なデザインが描かれている車、いわゆる広告宣伝車をみかけることがあります。 奈良市では、屋外において一定の期間、看板や広告などをかかげる場合、周辺への景観に配慮をもらうため、派手にならないように色合いや、大きさなどの規制をかけています。しかし、今のところ移動する車などは、その規制の対象になっていません。 「きれいで過ごしやすいまち」を目指すあたり、このような車は、我々も周辺への景観に影響をおよぼす恐れがあるものと感じています。 そうしたことから、これからは、市内を走る車を確認したり、他市の規制方法の事例を調査・研究したいと考えています。	都市計画課
子どもの居場所・あそび場	運動できる場所をもっと増やしてほしい（総合運動公園や市民プールなど）	奈良市では、すべての市民がスポーツに親しみ、楽しむことができるように、また、市民だれもが身近な場所でスポーツができるように、グラウンドや体育館などのスポーツする場所を準備整えています。 また、スケートボードパークやランニングステーションなど時代に合ったスポーツをしたり、楽しんだりする場所も新しく設置しています。 このように、さまざまなスポーツを行える場所があれば、市民のスポーツ活動や人の交流が盛んになります。 しかし、新しい場所を作る場合、これから人口が減少していくことやこれらの場所を造るために必要となる費用をどうするかなどを考えていく必要があります。 このような難しい課題もありますが、皆さんや小さな子ども、おじいさん・おばあさんまで、いろんな年代の市民が集い、気軽にスポーツを行える場所をこれからも準備していきたいと考えていますので、これからも皆さんの意見をたくさん聞かせてください。	スポーツ振興課

子どもの居場所・あそび

ボール遊びができる公園と遊具がある公園を分けてマークを付けてほしい	奈良市ホームページ上の「奈良市地図情報公開サイト」で調べたい公園緑地をクリックすると、その公園緑地にある遊具の写真が出てきますので参考にしてください。 公園でのボール遊びについては、球技や硬いボールをつかったキャッチボールなどは危険であるため禁止していますが、ゴムボールなどやわらかいボールで、周りに迷惑をかけずに遊ぶような場合は禁止していません。 これは、ボール遊びそのものを禁止しているのではなく「危険なことや他人に迷惑をかけること」を禁止していると考えてほしいと思います。 皆さんも公園では、近隣の方や他の公園利用者の方に迷惑にならないよう配慮して遊んでいただきたいと思います。	【奈良市地図情報公開サイト】 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/6/94247.html	公園緑地課
公園の近くにコンビニ・トイレ・冷房室（涼める場所）を設置してほしい	奈良市では、公園の暫定利用事業を募集する「奈良市トライアル・サウンディング」を実施するなど、新たな発想や仕組みを取り入れることによる、個性と魅力ある公園空間を作ろうとしています。 奈良市がコンビニを公園の近くに設置するのは難しいですが、今後、コンビニの会社が公園の近くにお店を出したくなるくらいに、公園の魅力を高めていきたいと思っています。 なお、トイレについては大きな公園には設置していますが、住宅地の中にあるような小さな公園には、公園を利用する人の家が近いことを考え、基本的には設置していません。 また、冷房室（涼める場所）については、多くの公園に「パーゴラ」や「藤棚（ふじだな）」「四阿（あずまや）」といった施設を設置し、公園に日陰など涼める場所を作り出せるようにしています。 こうしたトイレや施設については定期的に点検を行い、古くなったり傷んだものについて、順番に修理や更新をしています。		
公園の公衆トイレをきれいにしてほしい	公園のトイレについては1年を通して週2回から3回、障害者就労支援団体さんによる清掃作業を実施しています。また、古くなったトイレは順番に新しく更新しています。今後も清潔さを保ち、皆さんが気持ちよくトイレを利用できるようにしたいと思います。		
公園に遊具を増やしてほしい	奈良市には600を超える公園があり、それぞれを安全に使えるように維持管理するにはたくさんのお金がかかります。また、遊具で安全に遊ぶためには、遊具を設置する時に、遊具と遊具との間に定められたスペースを設けないといけません。 これらのお金やスペースの問題から、公園に遊具を増やすことよりも、今ある遊具を安全安心に利用できるように管理することを重視しています。		
地域の公園の遊具の点検頻度を増やして子どもが安心安全に遊べるようにしてほしい	遊具の点検については職員による日常的な点検に加え、有資格者による定期点検を現在2年に1度実施して、古くなったり傷んだものについて、順番に修理や更新をしています。 皆さんが安全安心に遊べるよう、引き続き点検作業を実施していきたいと思っています。		

子どもの居場所・あそび	広い公園を整備してほしい	新たに広い公園を整備するには、土地の確保などに非常に多くのお金がかかることに加え、すでに建っている家を移動させたり、土地の交換をしなければいけない場合もあります。 そのため、奈良市では一から公園を作るよりも、今ある公園をどうやって活用するかが重要となると考えています。 具体的な取り組みとして、令和5年度、市内の規模の大きな公園の一つである柏木公園については遊具や駐車場等を整備し、「キッズパーク」としてオープンしました。 現在は他の公園においても計画を進めており、今後さらに子育て世代や市民の皆さんにとって魅力的な街となるべく、公園整備を行っていく予定です。		
	奈良市子どもセンター内に無料で利用できる子ども食堂をつくらしてほしい	子どもセンターには、1.子育て広場、2. キッズスペース、3. 子どもの発達相談、4.奈良市こども家庭センター、5. 児童相談所の5つの機能があります。例えば、子育て広場は、(概ね0～3歳の児童とその保護者が対象)という様に、それぞれ利用できる人が限られていて、すでに多くの人が利用していますので、誰もが利用できる場所を確保して「子ども食堂」をつくることは難しいと考えています。 提案をもらった子ども食堂については、奈良県こども食堂ネットワークのホームページ (https://kodomonara.com/) で奈良市内の子ども食堂の開催場所などの情報がわかりますので、一度調べてみてください。奈良市でも皆さんに情報が届くように検討していきます。		子ども育成課
	中高生が体を動かしたり、夜まで話せる場所をつくる	奈良市には18歳までの方がご利用いただける児童館が4か所ありますので、児童館で中高生向けの講座等を企画し、中高生の居場所となるような取組を検討していきます。	【奈良市ホームページ(奈良市立児童館について)】 https://www.city.nara.lg.jp/site/kosodate/9927.html	子ども育成課
健康	朝ごはんの大切さを周知・啓発してほしい	朝ごはんは、一日を元気に過ごすために必要な栄養をとったり、生活リズムを整えたりと、とても大切な役割があります。皆さんが「みんなが健康に暮らせるまち」の実現のために、朝ごはんの大切さを伝えてほしいと提案してくれたことをとても素晴らしいと思います。 奈良市では、「奈良市21健康づくり(第3次)」という計画を作っていて、子どもからお年寄りまでのすべての人に、朝ごはんの大切さを伝える取組を進めています。例えば、健康増進課では色々なテーマで健康講座をしていますが、その中で、朝食の大切さを伝えるようにしています。また、ホームページやSNSでも情報を発信しています。さらに、市役所のほかの部署や、地域の学校や会社、地域の方々などと協力して取組を進めていきたいと考えています。 これからも朝ごはんの大切さや簡単に用意できる朝ごはんなどについて、たくさんの人に伝えていきたいと思いますので、皆さんも朝ごはんをしっかり食べて元気な一日を過ごしてください。	令和5年度には小学生と保護者の方を対象に、朝ごはんの大切さについて学ぶ講座をしました。ホームページにどんなことをしたかが書いてありますので、良かったら見てみてください。 【令和5年度25日は学ぼう！にこにこ奈良朝ごはんホームページ】 https://www.city.nara.lg.jp/site/otonanokenkou/174562.html	健康増進課

健康	学校で朝ご飯を食べられるようにしてほしい⇒子どもがメニューを考え市長にそれを伝え、その内容を反映してほしい 週に1回セレクト給食にしてほしい（子ども達が食べたい給食アンケートを実施し、その結果を1位から採用してほしい）（※食品ロスの解消や食育につながる。） 朝ごはんの大切さを周知・啓発してほしい（できれば機会の提供も）	登校前に朝ごはんを食べない人がいることに問題意識をもち、楽しく栄養バランスよく食べることが大切と知っている皆さんはさすがですね！ 実際の奈良市の状況をふまえてご説明します。令和5年度に実施された「奈良県における児童生徒の食生活実態調査」によると、平日に朝ごはんを毎日食べる割合は、奈良市では小学5年生で1.8%、中学2年生で2.7%です。そして、朝ごはんを食べない児童・生徒の約半数は、「食べる時間が無い」や「食欲がない」を理由に挙げています。そのため、朝ごはんを食べるためには、まずは生活リズムの見直しをすることが重要であると考えています。 もし、学校で朝ごはんを食べるとなると、朝の会までに後片付けを済ませる必要があります。また、昼には給食もあるので、朝食を食べるために早い時間に登校することになります。費用の面も検討しなければなりません、アレルギーの対応や栄養バランスのとれた食事の提供には検討が必要です。 朝ごはんの大切さについては、皆さんから貴重なご意見をいただいたので、今後、学級に掲示している食に関する指導資料に「朝ごはんの大切さ」を入れていきたいと思います。 また、セレクト給食についてですが、バランスの良い給食を食べてもらうために好きなものだけを選んで食べてもらったり、一人一人が違う献立で食べてもらったりということはしていません。 以前に、小学6年生と中学3年生にアンケートをとり、3学期に「アンコール献立」として提供していたことがありますので、今後も、皆さんの好きな食材や献立などはアンケートしたり、季節のイベントなどに合わせた献立にするなどして、工夫した献立も取り入れていきたいと思っています。給食は、栄養バランスや、予算、作業面を全て考えて出来ています。皆さんの好きな献立をできる限り取り入れたいので、どんなメニューなら美味しく食べられるのか、また教えてください。		保健給食課
	学校の窓に網戸を付けてほしい	多くの学校の校舎の窓には網戸がついていないため、今後、校舎の改修等を行う際には網戸の設置についても検討していきます。		教育施設課
	校庭を土日も開放してほしい	校庭や体育館などについて、休日に地域活動や運動などの利用がある場合は、利用する団体さんから事前に申し込みを行ってもらい、安全面にも注意しながら使用していただいています。それぞれの地域の活動に参加して利用をお願いします。		
	長期休暇中の宿題をなくしてほしい	宿題や学校の学習だけでなく、いろんな場面で新しいことを学ぶことがとても大事です。夏休みには学校の宿題だけでなく、夏休みならではの特別な学びも楽しんでほしいと思っています。学校でもそのことについて話し合っています。		学校教育課
	学校で書初め等を実施し、伝統文化に触れる機会を増やしてほしい	世界遺産学習の中でも、伝統文化にもっと触れることができるように、先生たちと一緒に研究していきます。		
	ラーケーションを導入してほしい 担任交代制や授業のオンライン出席を認めてほしい	ラーケーションは学校だけでなく、社会全体の理解が必要になると考えています。学校だけでなく、いろんな方法で学べる機会を増やしていくために、研究を続けます。		
	1学期に1回大きいテストを行い、レベルに応じたクラス分けや授業分けをしてほしい（併せてクラス分けによるいじめが発生しないようにしてほしい）	今のクラス分けは、みんなが仲良く過ごせるように、テストの成績だけではなく、個々の特性を考えながら決めています。これからも、みんなのことをしっかり考えてクラス分けなどを行っています。		

学 校 生 活	教育者を増やしてほしい	奈良市の小・中学校では、先生だけでなく、特別支援教育支援員、スクールカウンセラー、学校サポーターなど、たくさんの方が、子どもたちの教育を支えるために働いています。 奈良市では、このような人達を増やしていけるよう日々努力しています。また、たくさんの先生が子どもたちにかかわっていけるように、教科ごとに教える先生が変わる「教科担任制」や、学年の先生が交代で担任をもち、どの先生にでも相談することができる「チーム担任制」を取り入れていきたいと考えています。		教職員課
	学校生活での不満を教育委員会から学校に伝えてほしい	もし心配なことや不満があったら、いつでも教育委員会に連絡してくださいね。あなたの声を大切に思っています。		学校教育課
	私立公立に関係なく、また出身地などの制限もない教育料の無償化や留学費補助などの経済的支援で、子どもたちの選択肢を増やせるようにしてほしい	みんなが安心して小中学校に通学できるように、通学に必要な費用を援助する「就学援助制度」があります。 経済的に困っている事情があれば申請していただき、審査基準を満たせば援助を受けることができます。国立や私立の小中学校に通学されている皆さんにも利用することができます。 援助される費用は、学用品費、給食費、校外活動費、修学旅行費などで、金額は学年によって異なりますが、国が調査して適切とする額を参考にしています。修学旅行費は、去年から支給できる上限額を大きく引き上げました。 今回提案してもらったことも参考にして、一人ひとりが自分に合った進路を考えることができるように、これからも必要な支援を続けていきます。 また、留学費補助ではありませんが、今年度から開始した事業を紹介させていただきます。 奈良市中学生・高校生等海外夢応援プロジェクトとして、市内在住の中学生・高校生等から、将来の夢を叶えるための「海外探究学習プラン」の提案を募集し、内容を選考のうえ、海外での活動が実現できるよう財政面でその費用の一部を支援するものです。 奈良市ホームページにも実際の出発式の様子などを載せていますので、ぜひ見てください。	【奈良市中学生・高校生等海外夢応援プロジェクト】 https://www.city.nara.lg.jp/site/kyouiku/212328.html	教育総務課 地域教育課
	学校の先生やボランティア先生を学童の先生にしてほしい	バンビーホームの先生には確かに高齢の方もいらっしゃいますが、大学生のお兄さんやお姉さんなど若い先生もいらっしゃいます。また、バンビーホームの先生の中には、バンビーホームで働きながら小学校で講師をされていたり、放課後子ども教室の先生をしていただいている方もいらっしゃいます。 バンビーホームは普段は放課後に開所しますが、学校の先生やボランティアの先生はその時間に次の日に皆さんを学校で受け入れる準備をしていますので、バンビーホームに来てもらうことは大変ですが、学校の先生方とバンビーホームの先生方がしっかりとつながりを持って、見守りや学習のサポートをしています。また、若い先生がもっと多くバンビーホームで働いてもらえるようにしていきたいと思っています。		地域教育課
	校舎を利用して学童保育をする（建設コストの軽減）	ご意見を頂いた通り、既にある小学校の校舎を利用することで新たにバンビーホームを建設するよりも安価になると思います。奈良市ではバンビーホームを新たに建設する場合は、まず小学校の空き教室を利用できないかを検討します。そのうえで、どうしても空き教室が無い場合はグラウンド等に新しくバンビーホームを建設しています。現在、佐保・登美ヶ丘・済美・富雄第三・鶴舞・鼓阪・興東・田原・柳生小学校では校舎内にバンビーホームを設置しています。今後もバンビーホームを増やす必要が出た場合は、空き教室が利用できるか等、できる限り安価に対応できる方法を考えていきます。		

人権・平等	差別や偏見に関するセミナーを公民館で開いてほしい	奈良市では、1年を通じて差別、偏見等様々な人権についての講演会、イベント、映画上映等を西部会館など市内の施設で開催しております。どんどん参加してください。	【人権を守る】 https://www.city.nara.lg.jp/life/2/16/	共生社会推進課
	差別や偏見、また困っている人に対して見て見ぬふりをする人を減らす趣旨の標語入りポスターを作してほしい	奈良市人権擁護委員さんと奈良市が共催で、人権擁護啓発作品展を実施しポスターや習字を募集しています。表彰された作品でポスターや啓発物品を作製しています。各学校にもポスターを配布しているので、一度ご覧ください。また、ホームページでも作品を見ることができます。	【人権を守る】 https://www.city.nara.lg.jp/life/2/16/	
地域振興・文化継承	地域の特産品を使った講習会を開いてほしい	地域の特産品について知り、受け継ぐことはとても重要です。奈良市では、市内の農家で育てられた野菜や米、茶などの農産物をより多くの市民の皆さんに知ってもらい、食べてもらうことで地域を元気にする「地産地消」を進める取り組みを行っています。この取り組みでは、旬の地元野菜などの知識やおすすめレシピを、ショート動画で紹介するほか、ショッピングセンターでのトークイベントや、親子向け体験ツアーを行います。 このことにより、市民の皆さんが市産農産物を知り、学びを深めるきっかけを提供します。 また、しみんだよりの「奈良の食コラム」にて、市産農産物の紹介も行っています。 今後も、農産物をはじめ、特産品の情報発信につながる様々な取り組みができるよう検討していきます。		農政課

令和6年度奈良市子ども会議報告書

令和7年1月

【発行】

奈良市子ども未来部子ども政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話:0742-34-4792 FAX:0742-34-4798

E-mail:kodomoseisaku@city.nara.lg.jp